

一ノ渡則男氏農林水産大臣賞受賞

1 はじめに

第63回全国乾椎茸品評会(主催:日本椎茸農業協同組合連合会)の「天白どんこ」の部において、軽米町の一ノ渡則男氏が最高位である農林水産大臣賞を受賞したので、紹介します。

2 受賞経緯

一ノ渡氏の出品物は、平成27年6月25～26日に静岡県内で審査され、露地栽培品であったことから、自然味や花形の亀裂面の色沢(白さ)が評価され、大臣賞となりました。平成27年7月21日に開催された表彰式には、御夫妻で出席され、初受賞の栄に浴されました(図1)。

3 知事表敬訪問

平成27年8月11日に知事表敬訪問を行い、受賞を報告しました(図2)。知事からは「岩手の生産者の高い技術力が証明された受賞であり、岩手のしいたけ産地再生のために今後も頑張ってください」との激励がありました。

4 一ノ渡氏のしいたけ生産

一ノ渡氏は、しいたけ生産技術指導地域リーダーや二戸地方森林組合しいたけ生産部会長を努める地域のリーダー的存在であり、専門のしいたけ生産者として40年間栽培を続けています。山林を所有していないので、原木は立木購入し自ら伐採して調達し、そのすぐそばで植菌から本伏せまでを行い、人工ほだ場も林内ほだ場も借地とすることで、自宅から5km圏内で効率的に生産できる体制を構築しています。

5 おわりに

一ノ渡氏は、平成27年11月23日に新嘗祭及び農林水産祭式典への出席を予定していますが、今回の受賞に満足せず、「来年は他の部門でも大臣賞を目指したい」と意欲を燃やしています。当室では、今回の受賞を契機として、一ノ渡氏の生産を支援していくとともに、二戸管内で原発事故後の風評被害等により意欲を失いつつある生産者に対しても、産地としての活力を取り戻せるよう指導していくこととしています。



図1 出品物と一ノ渡夫妻



図2 知事表敬訪問